



大曾根俊輔《コウテイペンギン》2013年



飯沼英樹作品

## パルコ de 美術館トークイベント 大曾根俊輔 × 飯沼英樹 × 小川稔美術館館長

松本まちなか  
アートプロジェクト  
2021

パルコ de 美術館に出品中の二人の彫刻家。

ひとは乾漆技法を使って実在の動物たちを表現し、もうひとは木彫でファッショナブルな女性たちを表現する。松本市にゆかりのあるこの二人の彫刻家の世界観を松本市美術館の小川稔館長との対談と鼎談により垣間見ます。

二人の出品作家から直接お話を聞ける、またとない機会です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

12月18日(土)  
14:00 ~ 15:30

会場

Mウイング(中央公民館)  
会議室 3-1・3-2

入場無料  
定員 65名



申込みは「ながの電子申請サービス」(QRコード)にて



お問合せ：松本市美術館 (TEL:0263-39-7400 平日 9:00~17:00)



大曾根 俊輔 (彫刻家)

1978年神奈川県生まれ。2002年武蔵野美術大学工業デザイン学科木工専攻卒業。2004年東京藝術大学大学院文化財保存学専攻修了後、文化財修復の仕事に11年間従事する。2015年より松本市に移住。動物をモチーフに、乾漆による彫刻を制作している。



飯沼 英樹 (彫刻家)

1975年松本市生まれ、東京都在住。2002年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。フランス政府給費留学奨学金を取得し、留学。各国で個展を開催。帰国後もヨーロッパを中心に作品発表を続けている。2016年松本市美術館で「飯沼英樹 闘女神たち」を開催。「女性」をテーマに木彫作品を制作している。



小川 稔 (松本市美術館館長)

1954年東京都生まれ、神奈川県在住。1981年東京藝術大学美術学部修士課程修了。2008年、茅ヶ崎市美術館館長に就任。2013年、松本市美術館館長に就任。市民向け講座「よみなおし日本美術史」や企画展でのギャラリートーク等、市民と関わる機会も多く設けている。